

さいたま市長定例記者会見

平成31年4月11日（木曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社の共同通信社さん、進行をよろしくお願いたします。
- 共同通信 4月の幹事社を務めます共同通信と申します。よろしくお願ひします。  
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。  
新年度になりまして、最初の記者会見となりますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

4月1日には、新元号「令和」が発表される中、さいたま市役所では351人の新しい職員が誕生いたしました。きわめて重要な運命の10年を乗り越え、さらにその先の新たなステージに向かって発展していく人材として活躍してくれることと思います。

また、今週火曜日に発表された新1万円札の肖像画に埼玉県深谷市出身の渋沢栄一が選ばれましたが、さいたま市の名誉市民第1号の北沢楽天が主筆しました日本初のカラー漫画雑誌「東京パック」にも渋沢栄一の漫画が描かれています。

漫画会館には、その漫画のほか、渋沢栄一をモデルに楽天が漫画を描いている実際の写真資料も残っておりまして、おととしの所蔵品展で紹介させていただいておりますので、私としましても非常に親しみを持って受けとめております。

### 市長発表：議題1「新しい大宮区役所・大宮図書館が5月7日にオープンします」について

それでは、議題の説明に移らせていただきます。

議題1、「新しい大宮区役所、大宮図書館が5月7日にオープンします」についてご説明をさせていただきます。

供用開始は、平成31年5月7日火曜日8時30分でございます。所在地は、さいたま市大宮区吉敷町1丁目124番地1、ちょうど大宮駅とさいたま新都心駅の中間に立地する場所でございます。現在の大宮区役所より南へ約500メートル行った場所でございます。アクセスとしては、既存の大宮駅東口からさいたま新都心東口経由のさいたま市立病院行きの路線を一部変更して、この新庁舎前に新たなバス停を設けております。運行本数は1日23便から26便を予定していると伺っております。

次に、敷地面積であります。7,548.53平方メートル、延べ床面積は2万3,541.76平方メートルでございます。現在の大宮区役所に比べて約1万600平方メートルの増加となります。増えた要因につきましては、図書館との複合化、また北部市税事務所の新設、また地下駐車場の部分が増えたこととなります。構造は、鉄骨造、一部CFT造、中間層免震になっております。規模は、地上6階、地下1階でございます。

事業方式としては、PFI-BTO方式を採用し、設計、建設そして運営を一体的に行ったところでございます。また、事業期間は2016年の6月から2039年3月まででございます。

この建物の設計のコンセプトでございますが、このコンセプトは「まちを紡ぐ」「人を紡ぐ」「時を紡ぐ」の3つのコンセプトをもってつくられております。シンプルなスクエア状の形状として、周囲に空間を設けることでまちを紡ぐことにしております。また、大宮とさいたま新都心の中間に立地しているために、2つの地域が一体的な都心として機能する、その核となり、2つのまちを紡いでいくという役割を担っております。

また、建物の内部に特徴的な3つの吹き抜け空間を設けて、庁舎を訪れた方の交流や憩いの場となることによって人を紡いでまいります。さらに、製糸業で栄えた大宮の歴史から着想を得ました、絹糸をイメージするシンボリックな外観の建物を氷川参道の軸線上に配置し、大宮の時を紡いでまいります。

そして、施設の特徴でございます。まず、わかりやすいピクトグラムやフロアマップと連動した区役所窓口の色分け等によるサイン計画をしっかりと施しております。そして、高さの異なるカウンター、記載台を設置して、ユニバーサルデザイン、バリアフリーといったことにも配慮しております。

また防災の拠点という位置づけもしておりまして、免震構造、また緊急用の排水貯留槽を備えておりますので、大規模な災害時にも対応ができる「防災中核拠点」として災害対応をしております。また、帰宅困難者や避難所へアルファ米や災害用ビスケット、飲料水などの物資提供ができる拠点備蓄倉庫も備えております。

また、施設の特徴の2つ目でございますが、併設しております図書館部分についてご説明いたしますと、延べ床面積は展示スペース等の附属施設も含めまして約4,000平方メートルになります。現在の大宮図書館に比べまして約500平方メートルの増になります。

開館日は、特別整理期間を除く毎日になります。年間約360日開館をする予定でございますが、現在より約60日増えることになります。また、開館時間は平日、土、日、祝日にかかわらず21時30分までになります。現在は平日20時まで、それから土、日、祝日は18時までとなっておりますので、開館時間が大幅に増えます。

また、歌人、大西民子氏をはじめとする本市にゆかりのある文学者に関する資料を展示・公開する「文学資料コーナー」を新たに設置いたします。また、図書館では本市初の指定管理者制度によりまして、図書館と「展示スペース」や、休憩や打ち合わせなど誰でも気軽に利用できる「氷川の杜ひろば」など附属施設を一体的に運営してまいります。バリアフリーに配慮し、利便性も向上した図書館に生まれ変わることで、多くの市民の方々に気持ちよく利用していただけるものと考えております。

続きまして、フロアごとにご説明します。まず、1階の導入機能でございますが、建物の南側は区役所エリア、そして北側については図書館エリアになっています。氷川参道に面する位置にカフェとコンビニエンスストアを設置しております。カフェの営業時間は8時から22時、またコンビニエンスストアの営業時間も8時から22時となっております。

また、1階から2階への動線にはエスカレーターを設置しています。これが1階の内観になりますが、写真の中央は2階図書館へのエスカレーターで、上りと下りのエスカレーターを配置しております。エスカレーター横の階段状のこの部分ですけれども、この部分はイメージ図のように、イベントの際の観客席としても使用可能になります。図書館指定管理者が月1回程度イベ

ントを実施する予定です。通常時は、椅子、テーブルを配置しまして、庁舎を訪れた区民の憩いの場として利用してまいります。

続きまして、2階の部分でございます。フロアの南側が区役所エリア、そして東側は図書館エリアとなっております。また、2階図書館は「児童書コーナー」、「おはなしのへや」がございます。また、貸し出し前の本を持って出ることができる「としょかんテラス」、地上部からも出入りができ、カフェの飲み物も持ち込める「けやきテラス」も配置しております。これが2階の内観の写真とイメージ図になっております。フロア北東側の2、3階吹き抜け部でございます階段状の席は、8人程度のグループ学習が可能な席となっております。

それでは続きまして、3階部分でございます。3階の導入機能でございますが、3階は全体が図書館エリアとなっております。南東部に3、4階の吹き抜けがございます。それから、3階へのアプローチであります北東部から奥に行くに従って静かな空間となっております。フロアで最も静かな空間であります北西部につきましては、落ちついた空間で学習ができる「学習支援室」が120席、個室の「研究室」が9席、また閲覧席は現状から大きく増えまして188席となっております。ちなみに学習支援室は現状の108席から12席増えております。また、研究席は新しく備えたものでございます。また、閲覧席は現在27席でございますが、これから161席増やして188席でございます。新しい大宮図書館は、約30万冊の蔵書数で開館する予定でございます。現在から比べますと約4万冊の増加になります。

続きまして、4階の部分でございます。4階には、「保健センター」と「障害者更生相談センター」がございます。保健センターと障害者更生相談センターは、訪れた方のプライバシーに配慮して、それぞれ独立した区画がなされております。また、社会福祉協議会などの外部団体が入居することになっております。また、埼玉弁護士会をはじめとする市内の士業団体が協働して、会社設立、商標登録、労働問題などの相談に乗る「スクラム相談所」も新たに入居する予定となっており、行政以外のさまざまな市民の皆さんの相談事にも対応できるという状況になっております。

続きまして、5、6階の導入機能でございます。5階には、供用開始当初

は大宮区役所の課税課及び収納課がでございます。また、2020年1月からは北部市税事務所が開設となる予定でございます。また、6階には北部建設事務所、北部都市・公園管理事務所、大宮駅東口まちづくり事務所、東日本交流拠点整備課、氷川参道対策室などが置かれる予定でございます。

続きまして、大宮区役所新庁舎落成式でございますけれども、関係者の皆さんをご招待して大宮区役所新庁舎落成式を行います。開催日時でございますが、4月25日木曜日15時から開催いたします。受付については、30分前の14時半からでございます。主な招待者でございますけれども、県、市議会議員、また地元関係団体など約160名でございます。また、式典後、招待者向けの内覧会を実施する予定でございます。また、同日11時より新庁舎西側の「氷川緑道西通線」の相互通行が可能となります。併せて、新庁舎東側の「氷川参道」の一部区間が歩行者専用となります。詳しくは机上に配付した「ひかわ参道だより」をご覧くださいと思います。

続きまして、市民向けの内覧会を次のように行います。日時は、5月6日月曜日、これは休日でございます。10時から12時までと13時半から15時半までの2回でございます。事前の申し込みは不要で、当日直接新庁舎で受付をさせていただきます。報道機関の皆様には、4月25日の落成式のほか、内覧会についてもぜひお越しいただきたいと思っております。

また、お手元にチラシを配付してございますが、区民有志で組織する実行委員会におきまして、内覧会にあわせ完成祭を実施すると伺っております。新庁舎は、区役所の機能に加えまして、大宮図書館の機能も導入する複合施設となることから、その機能的な特色や立地の特性を生かして、地域のシンボルとなり、皆様から親しまれる施設となることを期待しております。

私からの説明は以上でございます。

## 議題に関する質問

### ○ 共同通信

ありがとうございます。

市長からの説明について、質問があればお願いします。

### ○ 日本経済新聞

日経新聞と申します。ご説明ありがとうございます。

1つちょっとこれに関連して質問させていただきたいんですけども、この図書館の跡地の活用方法について、10月にもプランがあったと思うので

すけれども、現状今進捗はどのようなふうになっているのかお聞かせいただければと思います。

- 市長 現在の宮区役所及び宮図書館につきましては、2020年3月14日から5月17日の65日間「さいたま国際芸術祭2020」の会場として使用させていただき予定でございます。その後の利用方法については、今、都市局を中心に関係部局と活用方法について検討中でございます。
- 共同通信 ほかに質問はありますか。
- 朝日新聞 朝日新聞ですが、図書館につきまして、ちょっとほかの図書館も含めてなのですけれども、この図書館は指定管理者制度によって運営されるようなことになるのでしょうか。なる場合は、どちらが指定管理者になれるのか、ちょっと教えていただけますか。
- 市長 今回さいたま市で初めての指定管理者制度を導入いたします。
- 事務局 こちらはPFIという方式ですので、指定管理の直接の請負は大宮クロスポイントという特別目的会社となります。区役所全体をそのSPC（特別目的会社）が請け負いまして、図書館部分につきましては、図書館流通センターと、それから小学館集英社プロダクションがこの大宮クロスポイントの構成員として直接担当いたします。
- 朝日新聞 今ちょっとお話があった中で、大宮図書館が初めて図書館で指定管理者を取り入れるというような意味でお話があったのか、それともほかの図書館はほかの図書館でもう既に指定管理者として運営委託をしているのか、そこをもうちょっと詰めて教えていただけますか。
- 事務局 指定管理者をさいたま市の図書館で導入しているのは、大宮図書館が今回初めてです。
- 朝日新聞 ということでありました場合に、例えばその指定管理者制度をほかの図書館に広げるという考えは今のところあるのでしょうか。
- 事務局 図書館でこの先、指定管理者制度を広げていくかどうかというのは、先ほど申し上げましたように、さいたま市で初めてなものですから、これから大宮図書館の状況を注視して、その上でどうするかを考えたいと。今のところほかの図書館に広げるという考えはございません。
- 読売新聞 読売新聞です。  
図書館に関してなのですけれども、蔵書数というのは市内でどれぐらいの

規模になるのか、あと実際の蔵書数がどれぐらいになるのか伺えれば。

- 市長 蔵書数は、先ほども申し上げましたが、今回新たに4万冊を増やして30万冊ということになります。30万冊が、今25館、図書館がある中で何番目になるのですかね。
- 事務局 こちらは3番目になります。
- 時事通信 時事通信社です。  
図書館について関連の質問なんですけれども、いわゆる指定管理者を初めて導入されるということなのなんですけれども、その意義と、どのような期待を込めて始められるのか、その部分についてもちょっと教えていただきたい。
- 市長 先ほどこれまでの比較で少しお話し申し上げましたけれども、1つは営業日数をかなり増やすことができたということもありますし、また開館時間もこれまでよりも土日祝日も含めましてかなり伸ばすことができ、夜の9時半まで営業できることになりましたので、そういう意味では市民の皆さんにとっては利便性が向上して、従来の図書館よりも利用者がさらに広がるということを期待しております。
- 産経新聞 産経新聞と申します。  
今の図書館の営業日数なんですけれども、従来に比べてどれぐらい増やすということですか。
- 事務局 今まで年間300日程度ですけれども、これからは約360日、増えるのは60日程度になると思います。
- 日本経済新聞 すみません。先ほどの質問で図書館の跡地というふうに申されたのですが、区役所の跡地の活用方法についても進捗がどうなっているのかお願いできますでしょうか。
- 市長 そうしたら、後ほどお知らせしたいと思いますが、これまで公共施設再編を大宮駅東口周辺でやっておりまして、ちょうど大宮区役所の跡地を3つのエリアに分けて、その中で今後公共施設の再編をどうしていくのか、どういう機能を持ってくるのか、また民間の活力なども活用してやっていく等々の方向性は昨年示させていただきまして、それを受けて現在次の段階に入っていると思いますけれども、詳細については後ほどお知らせをさせていただきますと思います。(会見後：資料提供)

**幹事社質問：**

- ① 統一地方選挙の結果を受けて。
- ② 新元号について。
- ③ 新年度の抱負について。

○ 共同通信

ほかにかがででしょうか。よろしいですか。

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきたいと思います。質問はまとめて行いますので、よろしくお願いします。

3点お聞きしたいんですけども、まず1つ目が統一地方選挙、さいたま市議選、埼玉県議選の結果を受けての所感をお聞かせください。2点目は、新元号についての所感をお願いします。3点目が新年度の抱負について。よろしくお願いします。

○ 市長

それでは、幹事社のご質問に順次お答えしていきたいと思います。

まず最初に、統一地方選挙についての所感からお話をしていきたいと思えます。3月29日告示、また4月7日投開票の統一地方選挙において勝ち抜かれた皆様に心から祝意を申し上げたいと思います。さいたま市が誕生して18年目、これからの4年間、市議会、また県議会での活動を通じまして、さいたま市の行政課題に関し、各議員と真摯な議論、また連携ができることを願っているところでございます。

前回の選挙では、市議会議員選挙において北区が無投票でございましたが、今回の市議会議員選挙では市内の全選挙区で選挙となり、それぞれ地域課題と市政全般の政策課題について候補者同士で熱い論戦が交わされたと感じております。一方で、県議会議員選挙では、前回に続きまして市内の選挙区について無投票の選挙区があったわけでもございまして、加えて県内全域を見ると、22区、32人が無投票当選になりました。私も県議会議員も経験してございますので、これだけ無投票になったというのは記憶にございません。

また、結果として、さいたま市議選の投票率は38.16%、過去最低でありました前回の40.39%を2.23ポイント下回りまして、ワースト記録を塗りかえたこととなります。また、同様に埼玉県議選の投票率は35.52%にとどまりまして、県議選史上最低だった前回の37.68%



をさらに2.16ポイント下回ってワースト記録を更新したと。全般的に地方選挙の投票率は長期的に見まして低落傾向にございますけれども、今回も同様の傾向となり、有権者の政治離れについて大変危惧をしているところがございます。

メディアの皆様にも選挙前から無投票が多くなるのではないかと警鐘を鳴らしていただいたわけでありますが、地方選挙において、低投票率に加えまして、立候補者が少ないという課題が改めて明らかになったと。これは全国的な傾向であります、これについては大変危機感を感じているところがあります。また、統一地方選挙は後半戦もございますので、これからさらにまたぜひメディアの皆様につっ込んだ論評や分析を行っていただきながら、やはり地方選挙の投票についても言及いただければと思っております。

また、今回の選挙の特色で言うと、低投票率と無投票が多かったというのが特徴だと思っております。一般的に地方選挙の地方議員の選挙については、首長に対する議会という二元代表制と表現されておりますけれども、その一方を選ぶ大変重要な選挙でございます。政党というよりは、議員の個々の政策を基準とすることが多いのではないかと感じております。ただ、政令指定都市においては、やはりどうしてもある程度の数、票を獲得しなければならないという状況もありますので、政党公認あるいは推薦の有無ということが選挙結果につながるとも感じているところでございます。

今回さいたま市における統一地方選挙の投票率については、残念ながらこれまでの選挙の中で最も低い投票率になっており、さいたま市のみならず、我が国の投票率が年々低下している傾向にあることを踏まえると、このままでは民主主義の健全な発展に大きな影響が出るのではないかと懸念しているところであります。

選挙は、まさに民主主義の根幹をなす制度であります。有権者が積極的に、ご自身の将来、あるいは地域の将来、また日本の将来を考えて、一人でも多くの方々に投票に参加していただくことを期待したいと思っております。

また、今回選挙管理委員会では、多くの選挙人の目に触れるように、自治会掲示板への啓発ポスターの掲示、あるいは啓発チラシの自治会への回覧、特設ホームページの開設、横断幕の掲出を行ったと聞いております。また、若い世代に向けた呼びかけとしては、市内の大学や高校、自動車教習所、ま

た子育て支援センターなど、若い世代が集まる場所に啓発ポスターやステッカーを掲出したということでございます。

さらに、市立浦和高校美術部への啓発ポスターデザインの依頼、また野球部マネージャーによる投票呼びかけのアナウンスの収録など、若い世代向けのさまざまな投票啓発が行われたと伺っております。しかしながら、過去の選挙の中で最も投票率が低いということになりました。引き続き選挙管理委員会には、投票率向上に向けた効果的な取組を、さらに検討を進めていただいて、ご努力をいただきたいと思っております。

続きまして、新元号についての所感についてお話をしたいと思います。新元号、「令和」が発表されまして、まさに新しい時代の幕開けを感じております。安倍総理が総理談話におきまして、「新元号、令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」とお話をされておりました。また、「一人ひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたいという願いを込めて令和に決定した」という話がなされておりました。

間もなく5月1日には皇太子殿下がご即位されまして、この新元号、令和のもとに新しい時代を迎えることとなります。私としても、新元号の意味、また新しい時代に込められた願いというものを受けとめつつ、何よりさいたま市民の皆様の新しい時代への希望、あるいは期待というものを十分に捉えながら、さいたま市の持続的な成長、発展に向けて今後の市政運営をさらに強力に進めていきたいと考えております。

続きまして、新年度の抱負について述べさせていただきます。私は、これまでも申し上げてまいりましたが、本市が将来も持続的に成長、発展していくためには、人口のピークを迎えるこれから約10年先、「運命の10年」こそが大切な期間であると申し上げてまいりました。そのため、新年度も本市の強みを徹底的に生かした施策や、事業に力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。

その一つは、「子育て楽しいさいたま市」への取組でございます。市民の皆様が住みやすいと実感できるまちづくりを進めていくに当たっては、福祉や子育て等の施策を充実していかなければならないと考えております。子育て支援については、「子育て楽しいさいたま市」を目指し、幼児教育の充実、

また「子育て支援型幼稚園」という認定制度をつくって、私立幼稚園等の預かり保育を促進するなど、多様な保育需要に対応していきたいと考えております。

また、保育の質の向上、安定した保育施設の運営を支援するために保育人材確保対策のさらなる強化などを行って、安心して子供を産み育てられるまちとなるための施策、あるいは事業に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

また、本市は「日本一の教育都市」の実現を掲げ、質の高い教育活動を実践しているところでありますが、さらに今年度も強化をしていきたいと思っております。

今月、さいたま市から世界に飛躍するグローバル人材を育てることを目的に、市立大宮西高等学校を改編した、市立大宮国際中等教育学校を開校いたしました。これによって、一人ひとりの個性や才能をより伸ばすとともに、グローバル社会の中でたくましく生き抜く人材を育成することができるものと期待しております。

また、教育の情報化を推進し、確かな学力を育成していくために、新たに35校の中学校にタブレット型コンピュータを配置してICT環境の整備を行うとともに、アクティブ・ラーニングの視点から授業を改善するため、タブレット型コンピュータに導入するソフトウェアを整備します。

また、「健幸」で、安心安全に暮らせるまちづくりに向けた取組についても強化をしていきます。健康寿命を延ばし、市民一人ひとりが「健幸」に暮らしていくことは、超高齢社会を迎えた本市の活性化には不可欠であると考えております。

充実した医療提供体制の確保に向けて、地域完結型医療の要として安定した医療の提供と、救命救急センター設置等によります医療提供体制の強化を図るため、さいたま市立病院新病院を今建設中ですが、12月末ぐらいに開院する予定となっております。

また、「東日本の中枢都市」に向けた取組について強化を行っていきます。本市の目指す「東日本の中枢都市」としての競争力強化に向けて、大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進を図るために、大宮駅の機能の高度化、交通基盤の整備及び駅周辺まちづくりの検討等に取り組みまして、

「(仮称) GCSプラン案」を作成してまいります。

また、3月28日にオープンした「まるまるひがしにほん」(東日本連携センター)では、シティプロモーション、B to B、交流の3つの機能によりまして、東日本地域全体の持続的発展、地域活性化を図ってまいりたいと思います。

そして最後に、現在さいたま市は、全庁挙げて「CS90運動」というものに取り組んでおります。「住みやすい」を90%以上にしていこうという運動であります。

平成30年度の市民意識調査では、「住みやすい」と思う市民の割合が84.2%、「住み続けたい」と思う割合が86.1%となりまして、いずれも過去最高の数字となりました。今後も、本市のさまざまな強みを生かした施策、また事業を進めて、市民の皆様の「住みやすい」、あるいは「住み続けたい」と思う割合を増やしていくとともに、市民の皆様、そして昨年からご協力をいただくことになりましたCSパートナーズの企業・団体の皆様とともに、この「CS90運動」をさらに広げて、「住みやすい」を90%以上にしていきたいと考えております。

### 幹事社質問①に関する質問

- 共同通信      ありがとうございました。  
代表質問の説明に関して質問がある方はお願いします。
- 埼玉新聞      埼玉新聞と申します。  
統一地方選についてお伺いいたします。先ほど市長から、市議選の投票率が38.16%で過去最低ということで低投票率、有権者の政治離れに危機感を抱いているというご説明ございました。  
有権者の政治離れなのですけれども、これはなぜこのような状況が発生していると市長は考えていらっしゃいますでしょうか。
- 市 長      生活そのものは、特にこの地方政治、基礎自治体ともものすごく密接にリンクをしているわけでありましてけれども、なかなかその部分について皆さんに十分に関心を持っていただけていないという部分については、これはもちろん私たちがより情報をわかりやすく、またしっかりとそれぞれに市民の皆さんに届けていって、関心を呼び起こしていくということの必要性もございま

すが、どうしてもやはり直接投票であったり、あるいは政治に直接参加していこうという意識が、やはり年々低下傾向にあるという感じがします。

これは、啓発活動ももちろんでありますけれども、もうちょっと中長期的にいうとシチズンシップ教育というのでしょうか、やはりそういった政治への参加の意味というようなことを、教育の中でももっと積極的に捉えて、伝えていくということが必要なのかなと思います。

そして、自分たちの生活に極めて密接し、また影響するんだということについても、その中でやはりしっかりと伝えていくことが必要だと認識しております

○ 埼玉新聞      今シチズンシップ教育というお話が出ました。具体的には、いつぐらいから始めたらよいとお考えですか。

○ 市長            これは、選挙管理委員会、あるいは教育委員会といったところと連携をして進めていく必要があると思います。

今後、そういった部分についても必要だということについては、今後、総合教育会議などで私からも一つの問題意識として、教育委員会等にお話もしていきたいなと思っております。

### 幹事社質問②に関する質問

○ 時事通信      時事通信社と申します。

新元号なのですけれども、令和と聞かれた際に、率直にどのような雰囲気といいますか、どう感じられたか、言葉とかどのように感じられましたでしょうか。

○ 市長            いわゆる音というのでしょうか。音というか、その言葉の響きでいうと、非常に何か爽やかな感じがいたしましたし、イメージとしては、非常にいいイメージで捉えることができたと思っております。

また、例えば県立浦和高校の同窓会が「麗和会」という名前であったり、あるいは旧浦和（地域）の中には、「麗和」という表現をして、幼稚園もございますし、そういった表現をされるようなところもあったので、「れいわ」という表現については、そういう意味ではやや親しみみみたいなものも感じたところでもございます。

○ 朝日新聞      ちょっと軽い質問なのですが、市長は今「れいわ（『いわ』を少し高く読む）」と言われましたが、「れいわ（『れ』を高く読む）」という人と、「れい

わ（『いわ』を少し高く読む）」という人がいるみたいなのですが、市長は「れいわ（『いわ』を少し高く読む）」派ですか。

○ 市長 特にどっちの発音の仕方がいいのかというのは、ちょっとわかりませんでしたけれども、今の言い方が自然に言わせていただいた言い方でしたので、特に私自身こだわりはないのですけれども、今素直に言った表現のほうが言いやすいのかなと私自身は思ったところで、これじゃなきゃというこだわりを特に持っているわけではございません。

○ 朝日新聞 多分さいたま市役所では、「れいわ（『いわ』を少し高く読む）」と言う人が多くなるのではないかと思います。ありがとうございました。

○ 時事通信 新元号に伴って、市庁舎内でのシステムとかの関係は今どようになっているのかと、トラブルとか、そういうのは今のところないということですか。

○ 市長 システム改修の進捗状況でございますけれども、現在各課が所管する情報システムの改修作業に着手しておりまして、改元日までには改修が完了する見込みでございます。

新元号発表から改元まで、改修期間は非常に短いんですけども、市民生活に影響がないように万全を期して取り組んでおります。

### その他：生活困窮世帯の子どもの学習支援事業について

○ 共同通信 それでは、代表質問とは関係なく、そのほかに質問がある方はお願いします。

○ 毎日新聞 毎日新聞と申します。

さいたま市の学習支援事業に関する事で質問をさせていただきたいと思います。さいたま市の学習支援事業は、市内のユースサポートネットさんが受託されてきて、これまで8年間さいたま市と一緒に学習の支援にとどまらず、家庭訪問を行ったり、民生委員さんたちと協力した地域づくりを行うなど、全国でも先駆的な取り組みを進めてこられたと思います。市長にとっても大切な事業として、市長も考えられているのではないかと私も認識しておりました。

今回、新年度からの受託業者さんが変更になりましたが、その点は市長はご存じだったのでしょうか。

- 市長            その結果等については、つい最近まで存じ上げておりませんでしたけれども、つい最近知りました。
- 毎日新聞        選定方法が、今までのプロポーザル方式や随意契約などから一般競争入札に今年、急にといいますか、2月の告示で変更が発表されましたが、その変更自体もご存じなかったということでしょうか。
- 市長            細かい経緯については理解しておりません。
- 毎日新聞        今回一般競争入札が行われた結果、全国で学習塾などを展開されている株式会社さんが落札されたということなんですけれども、今回の、特にその株式会社さんがいけないとか、ユースさんがいいとか、そういう観点で申し上げているのではなくて、この学習支援事業というものの特殊性ですね、子供たちとの信頼関係を築いてきて、そして信頼関係の上で学習支援が成り立つという性質を考えたときに、この学習支援、この事業を企画が考慮されるプロポーザル方式ではなく、価格、ほぼ一定の要件は設定されているにしても、価格で落札業者を決めるという方法に変更したということに関しては、市長はどのようにお考えでしょうか。
- 市長            ちょっと私自身も状況が十分把握できておりませんので、今この場ではコメントは控えさせていただきたいと思います。また後ほどコメントをお返ししたいと思います。
- 毎日新聞        ちょっと続けてですが、そうするとこの学習支援事業は、私が申し上げるまでもなく、市長は十分ご理解されていると思うんですけれども、子供たち、生活困窮家庭の子供たちというのは、虐待などが背景にあって、大人が信頼できないという子供たちが非常に多くて、その中で学習支援教室の先生たちが子供との信頼関係を、家庭訪問をして外に出られない子と1日1日積み重ねながら支援を重ねて、長い期間をかけて信頼関係を築いてきて、その上で成り立っております。  
                           こうした変更、質が担保されない形、今回余り引き継ぎなどの面でも、2月に選定方法の変更が告示されて、3月の中旬に選定業者が決まるということで、教室閉鎖まで2週間しかないということで、特に引き継ぎなどを行う時間もないし、引き継げるような情報でもないと思うのです。子供たちの個人情報にかかわるものですし、信頼関係の中で得てきた情報を全く新しい団体さんに引き継ぐということは、非常に難しいのではないかと思います。

けれども、この点についてどのように今後質を担保されていくのかということについてもお伺いしたいと思います。

○ 市長 いずれにしましても、前に担当していただいたところと、新しくやっていたところの引き継ぎであったり、あるいは情報共有であったり、そういったものについてはしっかりしていただいて、できるだけ子供たちに影響がないような形で取り組んでいきたいと思っております。

○ 毎日新聞 ちょっと重なってしまうんですけども、非常に引き継ぎも、個人情報が含まれるので、簡単にはいかないかと思うんですけども、ある意味今まで家庭に居場所がない、学校に居場所がない子供たちにとって、学習支援教室ってある意味そこしか居場所がなくて、命綱のような側面を持っていると思うんですね。そこが、子供の側からしたら突然断ち切られたという状況で、非常にショックを受けているお子さんたちも多いと思います。

特に市として学習支援事業に対して、何か方針の変更があったというわけではないですか。今回の決定は、市長がご存じないということなので、特に方針が変更されたとか、そういうことではないのですね。

○ 市長 その辺については、十分承知しておりませんので、後ほどお答えを返したいと思います。

○ 毎日新聞 わかりました。

では、非常に動揺している子供たちも多いと思うんです。まだ、恐らく新しい教室スタートしていないかと思うんですけども、動揺している子供たちに対して、市として今後どういうふうに子供たちの学習支援事業に取り組んでいくのかということについて、市長の姿勢をお話いただければと思います。

○ 市長 もちろん今お話のあったとおり、ただ学力を上げるということだけではなくて、もう少し幅広い分野から子供たちとのコミュニケーションを樹立させながら、そしてあわせて学習の状況を向上させていくということが必要だと認識しておりますので、私たちとしても、そうした子供たちをしっかりと受けとめて、学力を向上させ、そして高校への進学であるとか、あるいは将来にしっかりとつなげていきたいと考えております。

さいたま市は、基本的には、教育活動については教育委員会で行っておりますけれども、やはりいろんな環境にある子供たちがおります。その子供た



ち、全ての子供たちを私たちは夢と希望をしっかりと持ってもらい、そしてそれを実現するために知力、それから体力、それからコミュニケーション力、そして徳力といいますか、そういったものをしっかりと、この4つの力を身につけて社会に送り出していくというのが、私たちの大きな役割だと思っています。

引き続き、そういった子供たちにしっかりとサポートできるようにしていきたいと思っております。

○ 毎日新聞      ありがとうございます。

そうしますと、今までの方針から市長のお考えは変更ないと。

○ 市 長      ええ。基本的な考え方については、変わっているものではないと考えております。

○ 毎日新聞      業者の選定方法1年単位の契約なんですけれども、今後質の担保の観点から見て、今回非常に動揺とか影響が大きかったわけなんですけれども、特に直前になってからの変更で、準備がなかなかとれなかったということもあって、今後選定方法について見直されたりするお考えはありますか。

○ 市 長      いずれにしても、今年度の状況を十分に踏まえながら、検討していきたいと思えます。

### その他：桜田オリンピック・パラリンピック担当大臣の更迭について

○ 時事通信      時事通信です。

昨日、桜田オリンピック担当大臣が、事実上の失言を受けての更迭をされたかと思うんですが、さいたま市も2競技、市内でバスケットとサッカーが行われるかと思いますが、これについて、まずどのような感想と、影響等、どのように考えておりますでしょうか。

○ 市 長      ちょうど私も戻って、ちょうどニュースをつけたところで、辞任というニュースを聞いて大変驚いたところでございます。

今回の桜田大臣の発言については、やはりこれまで東日本の復興のために多くの皆さんが力を、また心を、さまざまな思いの中で取り組んできた、本当に重要なことでありましたので、やはり今回の発言については看過できない発言だったと私自身も感じているところであります。

そして、この直前にまた大臣がやめられるということで、あと1年ちょっとですかね。1年半ぐらいというタイミングの中でこういう事態になったということは極めて残念なことでありますので、これから準備を進めていくオリンピックのさまざまな取り組みについて、やはり私たちはしっかりとそれを、海外から来られるお客様、あるいは選手の皆さんたちに迷惑をかけないようにしていかなければならないし、しっかりとおもてなしをしていかなければならないと思っておりますので、すぐに後任の大臣が決定をいたしましたので、その後任の大臣ともどもしっかりと開催地の一つであるさいたま市も、しっかりと成功に向けて取り組んでいきたいと思っております。

### その他：桜田オリンピック・パラリンピック担当大臣の発言について

#### ○ 朝日新聞

またちょっと角度を変えた質問です。

清水市長は、非常に慎重な物の言い回しをされる方だというふうに印象を持っておりますけれども、昨日のような発言が、録音がかなり流れていたと思うのですけれども、同じ政治家として、ああいうふうな発言がぼろっと出てしまうのは、何でだというふうに思いますか。その辺のちょっと感想だけお聞かせ願えればと思うのですが。

#### ○ 市長

桜田前大臣がどういう思いで発言されたかはわかりませんが、私たち政治家、あるいは私自身は今首長という、市長という立場にいて、さまざまな発言による責任を生じるということを日々考えながら、仕事をさせていただいています。

ですから、できるだけ適切で、そして誤解のない表現をしていかなければならないと考えておりますし、それはできるだけどんな場面でも、そういったことは十分踏まえて話をしていかなければいけないと思っております。

いずれにしても、政治家ということもありますし、また私自身は市長という、さいたま市全体の代表という大きな立場がございますので、私自身が発する発言が市民の皆さん、あるいはさいたま市全体にさまざまな影響を与えることになると思っておりますので、できるだけ私自身は慎重に、また言葉を選びながら、私自身はそれほど語彙力が豊富なわけではございませんけれども、わかりやすく、またできるだけ真っすぐに答えられるようにしていきたい

いと心がけているつもりであります。

- 朝日新聞      という今の清水市長の、非常に政治家としての発言はどういうものか、あるいは首長としての発言はどういうものかということを非常に踏まえた意識を持ってられる立場として、きのうの発言を聞いたときに、やはり信じられないというような思いだったでしょうか。
- 市 長      そうですね。これは、あり得ない発言だと思います。
- 共同通信      ほかいかがでしょうか。  
よろしいですか。どうもありがとうございました。  
以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進 行      以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。  
なお、次回の開催は4月26日金曜日、13時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後2時25分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。